

ひまわり通信

SSKS
No.98



令和二年雑感

代表理事 隅 一 清

令和二年もあと一か月になりました。正月をお屠蘇気分を迎えた頃は、まさかこの一年がコロナ騒ぎに巻き込まれようとは、誰一人考えていなかったと思います。

中国から発祥したコロナは、一年足らずの内に全世界に広がり、十一月上旬現在で、アメリカの九百万人をトップに全世界で四千万人の感染者が報告されています。

死者も百万人を超えています。若い人は入院もしないで回復していますが、高齢者は死に直結しているのです、特に注意が必要です。日本で最初に発祥した北海道でも、一時は治まりましたが、最近になって第二波、第三波とかでかなりの数の発症者が報告されています。東京でも連日百人以上の感染者が出て、十一月六日は二六〇人になっています。

この分だと令和三年もコロナ騒ぎは治まりそうもありません。国もこのままでは、企業も個人経営者も

立ち行かないので、夜の街も、飲食者もコロナ対策をして営業を認める様になりました。国の持続化給付金は、一時的なものなので、経営者はたとえ来客数が少なくても、毎日収入のある方が助かるのと、何もしないでいるより体を動かしている方が、ストレスもたまりません。会の移送事業も今はすっきり元通りになりました。



現在、会に登録しているドライバーは二十名になります。八台ある車も毎日稼働していますが、最近の利用者の依頼が多くなり、車両不足からお断りすることもあります。現在、持込車両で移送をしてくれるドライバーが四人程いるのですが、あと二人位いれば助かりますので、お友達等をご紹介下さい。ひまわりの集いの、俳句、絵手紙、書道など各教室も十月から再開しています。四月から中止していた、日帰りバスの旅も十月の一泊二日の研修旅行から始まりました。十一月三日みかん狩り、十三日かんぼの宿での忘年旅行も予定通り行います。

今年は、Gotoキャンペーンで国をあげて、お出かけを促進させて旅館や交通費などを補助する事になりました。当会でも、十月の研修旅行や、十一月の日帰りバスハイク等に利用しました。このキャンペーンは、観光会社を使わないでバスだけを手配している当会では補助はありません。たまたま、十一月のバス旅行は世田谷区の提供バスだったので、提供会社の関係で利用できました。このキャンペーンも、国の予算が無くなれば終わるので、たぶん一月末位で終了するのでは…。

予算を大幅に縮小した、今年度の事業計画も二月三月で終了します。事業計画者も、高齢には勝てず、後継者も現れないので、来年度は縮小する予定です。

「コロナの時代」

サニー・けあサポート 實井茂人

2020年度の新語・流行語大賞候補にコロナ関連の言葉が多く見られました。その中に「エッセンシャルワーカー」という言葉がノミネートされています。

初めて耳にされる方も多いと思いますが、コロナ禍で緊急事態宣言の下、外出自粛要請が出された中でも仕事柄、外出して働かなければならない方々の事をエッセンシャルワーカーと呼ぶそうです。

新聞配達の方、バスや電車の運転手、清掃局ゴミ回収の方、コンビニの店員さんや訪問介護ヘルパー、透析を担当されている介護タクシーのドライバーなどももちろん含まれます。

コロナの時代、オンライン○○とかリモート○○という様に働き方も多様化しています。その中においてもソーシャルディスタンスが取れず、常に濃厚接触を伴う職業の一つに訪問介護ヘルパーがあります。

食事介助、入浴介助、排泄介助、どれをとってもソーシャルディスタンスが保てず、ましてリモート介助など不可能です。

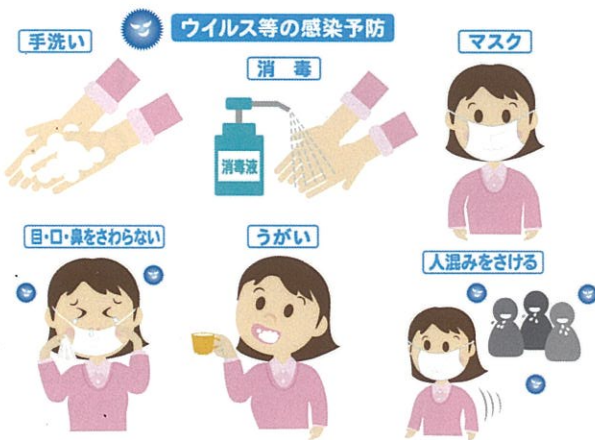
先日でも起床介助担当のヘルパーより「○○さん、意識ははっきりしています。39度の発熱があります」という報告を受け、まずは訪問看護ステーションに連絡したところ週末だったからか電話が繋がらず、最寄りの病院の発熱外来からも「土日は対応できません

ん」という返答。「発熱」というフレーズだけでサービスを断るヘルパー事業所もありました。

高齢でかつ同居となれば誰かが関わるしかなく、他事業所と連携しながらマスク、グローブはもちろん簡易防護服を着用しての対応となり、最終的には救急対応として病院に搬送されましたが、幸いにもコロナではありませんでした。

いつもなら「水分を多めにとつて安静にして下さい」で済むようなケースでもコロナ禍においては「発熱」「コロナ感染」を疑わざるを得ず、全てが大袈裟な事になります。高齢者がコロナに感染すると重篤化するというデータがありますので、これも致し方ない事でしょう。

それにしても、おちおち熱も出してられない時代になりました。



ひまわり句会

菅野孝夫 選

亀井歌子

舞ひ上がる風のご機嫌しやほんま
思はざる初夏の長雨ストレットチ
梅雨寒や草津温泉入浴剤
新玉葱丸ごと煮詰めスープかな
草茂る水の清らに深大寺

羽山貴子

たんぼぼの夢を見たくて腹這ひに
父の日は今日と気づきて空仰ぐ
山吹をほろほろ散らし蝶去りぬ
公園の噴水の水七色に
猫が鳴く隣の屋根の月仰ぎ

作田志津子

等々力の湧水の音夏来る
古書匂ふ喫茶ルームの薄暑かな
白南風や蟻の行進きりも無く
眩しさや日傘ななめに差しかけて
夕立に沸き立つ土の匂かな

宮澤みどり

夏服のアイロンかけや日暮れ方
鉄線の濃きむらさきや日の暮れて
天に火球地にはウイルス半夏生
街路樹の木肌に残る暑さかな
文月の記念切手を貼る手紙

大谷のり子

湯治場の朝の炊事やほととぎす
ポケットのルーペコンパス雲の峰
鳥の羽一枚落ちてゐる暑さ
よろめいて青竹踏の素足かな
箸にくづれて江戸前の穴子鮓

行事報告

第三回理事会開催

今年度は、四月からの行事がすべて中止になりました。

理事会も一回、二回と文書での連絡で報告事項のみとなりました。

第三回はコロナ騒ぎも少し治まりを見せてきたので、パレスの会議室で開催しました。

行事がないので行事報告はなく、行事予定として十月の一泊二日の研修旅行や十一月の冬桜と紅葉のバスハイクについて説明がありました。質疑応答の中で松宮顧問から、ひまわりの旅行等ではなるべく赤字を出さない事とか、議事録を作成して保管すること等が提案されました。私としては、理事会と言っても会則を変更するとか、移送料を改訂する等といった協議事項があれば別ですが、今迄は全て行事の報告と予定だけで、文書を通じて会員に配布している事なので、議事録は必要ないと思っ

ていました。会の年間予算も、すべて私一人で定めていたので…。

私も残り少ない人生なので、今はすべて娘と相談してやっていますから、当会は安泰です。ご心配なく…。

私の元気なうちは、なるべく多くの旅行に行けるように頑張りますので、宜しくお願いします。

出席理事8名



秋の一泊研修旅行

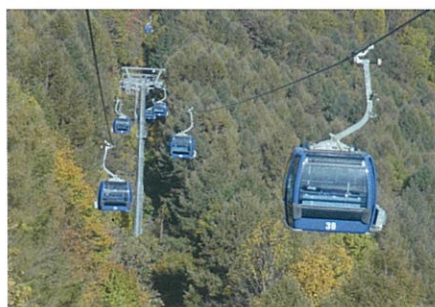
新潟苗場から湯沢岩原高原へ

最初の予定では、福島の色沼のペンションに行く予定でしたが、オーナー夫婦と長いお付き合いがあるので、オーナーから連絡があつて、五色沼の方は今は息子たちにやらせているので、若い人達が多くコロナ騒ぎの中なので心配だから自分たちが居る苗場に来てほしい、との話になりました。

チャリティー協会を通してあるので、チャリティーの方は福島で申請していたのですが、どちらでもOKということで、急遽苗場に決定しました。このコースは平成二十六年の秋に行っているのですが、その時の参加者で今回に参加された方は、私他に二名しかいません。通常日帰りの旅ですと、三十五名〜四十名位の参加者がいるのですが、泊りとなると半分くらいの参加者になります。ベッドのある部屋でないとかダメという人もいたので…。

土曜日とあつて、関越道は所沢あたりから大渋滞にみまわれ、いつもの高坂SAに着くのに三時間、上里SAで休憩をして月夜野ICを出たのが、午後二時でした。

昼食を予約していた、道の駅たくみの里のお蕎麦屋に着いたのは二時半過ぎになりました。食事の後、三国峠にあるホテルエフに向かい



参加者 十九名

ました。猿ヶ京温泉、法師温泉と温泉のメツカです。エフは温泉がないので、希望者を連れて近場の湯宿温泉に行きました。大きな湯船に体を沈めて、旅の疲れを流しました。

翌日は七時に朝食を食べて、いよいよドラゴンドラに乗り紅葉見物です。

最高の天候に恵まれ、紅葉も最盛期でした。苗場山の山頂には、うっすらと雪が積もっていました。山麓に戻つて来たら、長蛇の列でピククリ！早起きして正解でした。

予定通り、湯沢岩原高原のピザ屋に到着。ワインを飲みながら、クワトロとかのピザを頂きました。本来は、湯沢の大源太山の麓にある湖で、紅葉見学が出来るのですが、治水工事でダム工事中でした。

関越トンネルを抜けて水上ICで下車、道の駅で買い物をして、再び関越道へ。やはり花園あたりで渋滞に巻き込まれましたが、八時には野沢に到着。無事、研修旅行を終了しました。四月から中止になっていたドライブも、再開が出来てホッとしています。

行事予定

◎小田原早川

みかん狩り

- ・日時 十二月三日(木) 九時出発
- ・会費 八千円 (バス代・昼食代・みかん代他)



◎区民ふれあいフェスタ展

- ・日時 十二月一日(火)～四日(金)
- ・場所 世田谷区立 保健医療福祉総合プラザ
- ・交通 梅丘駅から徒歩5分
- ※今年は作品展のみで、バザー等はありません。

◎十二月忘年旅行

- ・日時 十二月十三日(日) 九時出発
- ・行先 熱海かんぽの宿
- ・会費 八千円 (宴会費・バス代・入浴代他) (別途個別移送料千円)



※右記行事は、十月号のお知らせで案内済ですが、参加希望の方は事務所までご連絡下さい。

◎新春新年会

恒例の新年会は、今年も事務所の前にある中華レストラン華空間で開催します。前回の新年会には、歌手の鈴木やすしさんを招いて、歌とトークで皆さんを愉しませてくれました。今回も何か企画中です。年の初めの顔合わせですので、是非お誘い合わせの上、ご参加下さい。

- ・日時 一月十七日(日)十二時～十五時
- ・会費 一人六千円
- ・送迎 希望者は無料で送迎します。

※参加希望者は、十二月二十日までに事務所にお申込み下さい。
 ※移送ドライバーの方には、移送をお願いすることがありますので、ご協力下さい。



昨年の新年会



編集後記

若いころから掛けていた都民共済の保険が、八十五歳を過ぎると続けて掛けられないとの事で、今年度末で打ち切りになるとの事です。本年度内に亡くなれば、事故で百万円、病気で六十万円出るそうです。来年度になると何もありません。

別に掛けているアリコの保険では、誕生日前に亡くなれば、二百万円出るのが、過ぎると六十万円になるそうです。お陰様で？誕生日は過ぎたので、後は六十万円のみとなりました。

互助会にも別途、毎月三千円づつ掛けていますので、どうやら葬式代だけはなんとかかなりそうです。最近の週刊誌などに、やたら終活の話題が載っていますが…。

幸い、当会は娘が継続してやっていてくれるので、安心してあの世に行けそうです。貧乏性の私なので、あの世でも移送事業をやって、三百六十五日働き続けていると思いますので、ご来世？の節は、是非ご利用下さい。

「ひまわり通信」98号

2020年11月26日発行

編集

特定非営利活動法人

編集責任者

ヒューマンハーバー世田谷 隅一清

住所

世田谷区野沢3-4-18-102

TEL

03-3487-5081

FAX

03-3422-9281

発行人

障害者団体定期刊行物協会

世田谷区砵6-26-21 (定価100円)